

Arts and Museum Events in New Taipei City

# 新北市藝遊

2025  
9月號



日文版

站上巔峰／我的運動舞臺

## 2025 全國 青少年 陶藝獎

2025  
08.01(五) ▶ 09.28(日)  
新北市立鶯歌陶瓷博物館陽光特展室

### カバーストーリー



### 2025年全国児童・青少年陶芸賞

スポーツは単なる競技ではなく、自己超越の旅でもあります。「2025年全国児童・青少年陶芸」は「頂点に立つ：私のスポーツの舞台」をテーマに、小学生から高校生までの生徒を対象に、心の中のスポーツヒーローや夢の試合を粘土を用いて表現し、スポーツ精神への情熱及び想像力を形にしようと呼び掛けています。専門の審査員による選考を経て選ばれた100点の優秀作品が新北市立鶯歌陶磁器博物館にて展示され、青春並びに創造性が織り成す熱血の瞬間を来場者と共に鑑賞して頂きます。本賞は1995年に始まった「十二支陶芸コンテスト」を起源とし、2020年に現在の名称に改称されて以来、芸術美学の普及及

び教育の深化を推進し続けています。「立体塑造部門」並びに「平面上絵部門」が設けられ、小学生から高校生までの生徒が立体創作及び基礎造形色彩の表現力を発揮することを奨励しています。今回の立体塑造中学校部門の最優秀賞は范書維による《スピードファンタジー》が受賞し、フォーミュラカーレースの速度及び機械的美しさを繊細に表現しています。平面上絵小学校低学年部門の最優秀賞は陳子瑜による《空を征服する私を見て》が受賞し、棒高跳び選手が跳躍瞬間における緊張感並びに集中力を見事に捉えています。ぜひ会場に足を運び、次世代が陶芸を通じて描いた夢、努力、栄光のイメージーションを感じて頂きたいものです。



- ☑ 即日より09/28
- 📍 新北市鶯歌陶磁博物館
- ☎ 02-8677-2727#831、832
- 🌐 www.ceramics.ntpc.gov.tw



### 編集者の選択



### 2025年新北市軍人村文化祭 — 「ニャンが軍人村を巡る」

今年で16回目を迎える新北市軍人村文化祭は「ニャンが軍人村を巡る」をテーマに、9月27日から10月31日まで空軍三重一村で開催され。9月27日・28日に催される開幕イベントでは、舞台演出、マジックショー、インタラクティブパフォーマンスに加え、「軍人村生活体験ゲーム」を実施。参加者はレトロな衣装に着替え、関門チャレンジや写真撮影が可能です。会期中は毎週末にテーママーケットが開かれ、中古品や文化クリエイティブグッズの販売が行われ、循環利用のコンセプトに呼応しています。更に会場では持続可能な手作りのワークショップも開催され、オンラインで申し込み可能な浴槽型陶器板作り、古い靴下をリメイクさ

れた人形、青写真、シルクスクリーンのバッグ等を製作し、古い物に新しい命を吹き込む楽しさを味わえます。他に「軍人村文化小旅行」では、新北市内の他の軍人村を訪れ、市民の皆様を新北市内の他の軍人村へとご案内し、地元の物語に耳を傾けて頂きます。会場ではイベントDMを請求し、スタンプを集めると数量限定のステッカーと交換可能。2025年の新北市軍人村文化祭では文化・創造性・持続可能性を織り交ぜさせることで、皆様を軍人村の世界へと誘い、唯一無二の思い出を残して頂きたいものです。



- ☑ 09/27-10/31
- 📍 新北市眷村文化園區—空軍三重一村
- ☎ 02-2979-1815
- 🌐 https://reurl.cc/rY32Gx



### 2025年 新莊にて名作演出《長き灯り、明雪は舞台を照らす：演劇人・洪明雪切りの記録》

それはテレビが未だ普及していなかった時代、歌仔戲（台湾歌劇）は大衆娯楽であり、端正な若衆役は台湾全土のアイドルであり、そして、洪明雪様は正にその中で間違いなくその名に恥じない注目の的でした。2025年、《新莊にて名作演出》シリーズの演出では、彼女を中心に据え、演出、指導、記録してきた軌跡を観客の前に再び呼び起こし、彼女の戯曲人生と深く結び付いた名作の演目を数本披露します。《包公が皇后に謁見する》は一心劇団によって演じられ、洪先生の口述による記憶に基づいた作品で、彼女が嘗て八賢王を演じたこともあり、現在は劇団の顧問及び台湾語指導を務めています。《楊家将・余啓山を生け捕る》は2020年に実施された「歌仔戲（台湾歌劇）即興演出の名作保存計画」での貴重な口承資料を基に、一心劇団によって再び舞台に再演させます。本作品は伝統を基盤とし、革新を翼とする姿勢で取り組み、歌仔戲（台湾歌劇）の身の熟し、唱え、演技における奥深さを繊細に表現しつつ、現代的な演技並びに視覚的言

語を融合させることにより、古典及び現代が融合された舞台美学を創出しています。脚本チームは物語の流れを再整理し、演出家の視点や舞台設計と結び付けて、名作の演目を新たな姿で甦らせています。李静芳歌仔戲團（台湾歌劇団）による《六郎、御前に訴える》は《楊家将》の物語を改編した作品で、洪明雪様が自ら曲の抜粋をし、唱えの指導を行い、第32回伝統芸能金曲賞にノミネートされたアルバムにも収録されています。劇団は「新しい戯曲・懐かしい旋律」という理念を掲げ、内舞台時代の伝統的な立ち姿や唱えの身の熟しを融合させ、六郎が父の無念を晴らす為、頭桶を背負って宮殿で冤罪を訴えるという史実を余すところなく再現しています。劇中の「太郎が令公を泣きながら想う」「六郎が訴える」「四門を討つ」といった場面では、忠孝節義と正邪の対比を浮き彫りにし、伝統的な節回し、泣き節、古調音楽を駆使し、劇の緊張感を高め、洪先生が伝えてきた戯曲美学及び深い芸の世界を受け継いでいます。

薪傳歌仔戲劇団（台湾歌劇団）は《虹霓関》、《封神演義》、《狸猫が太子に摩り替わる》といった作品を披露し、洪明雪様が推進してきた歌仔戲（台湾歌劇）の教育及び保存の理念に呼応しています。劇団は長年にわたり、内舞台戯曲の再構築並びに史料整理に尽力し、名作を現代舞台に甦らせることに力を入れてきました。今回の公演では、繊細な節回しの設計及び「折子戲」（歌劇の抜粋劇）の凝縮された演出を以って、伝統技芸の奥深さを示し、洪先生在教育精神の継承を体现しています。これらの演目は彼女の人生の一区切りの延長に止まらず、彼女が灯してきた舞台の灯火の一つ一つであり、今も尚人々を温かく照らし続けています。

本展では「片段記事（一区切りの記録）」というタイトルの元、一枚の写真、一ページの脚本、一着の舞台衣装を通じ、洪明雪先生の生命のリズム及び演劇の記憶に擦り寄っていただきたいと願っています。一見ばらばらに見える資料の一つ一つに、実は一区切り、一区切りの非凡な歴史並びに感情が宿されており、彼女の「戯夢人生（戯曲に生きた人生）」の真の注釈となっています。展示は新莊文化芸術センターの演芸ホールの前堂にて行われ、観客は洪明雪演劇人が自ら手縫いで制作し、実際に着用した衣装6着を間近で鑑賞頂ける



### 2025年 新莊にて名作演出《長き灯り、明雪は舞台を照らす：演劇人・洪明雪の一区切りの記録》

- ☑ 09/16-10/05
- 📍 新莊文化芸術センター
- ☎ 02-2276-0182
- 🌐 www.xzcac.ntpc.gov.tw



外、又、各時代の貴重な写真、口承脚本、演出記録、教育ノートを通じ、内舞台から現代表現へ、舞台から教室へと歩んできた彼女の多様な人生を辿ることができます。妹の洪明秀様と組んだ「姉妹花」コンビは北台湾で一世を風靡し、ファンの間では「粉のように繊細で玉のように美しく、演技も歌も秀でている代表な人物」と讃えられる存在であります。内舞台から外舞台、映画からテレビ、舞台から教育へと、洪明雪様はその人生全てをもって演じ、そして一生を掛け、伝承してきました。これは単なる人物記録の展示であるのみならず、優しい眼差しの交わりでもあるのです。



新北市美術館



- 🕒 月曜休館 | 火曜～金曜10:00～17:30、土曜～日曜 10:00～18:00
- 💰 NT\$100
- ☎ 02-2679-6088
- 📍 鶯歌区館前路 300 號
- 🚉 台湾鉄道→鉄道「鶯歌駅」にて下車、文化路に沿って館前路に出てから道沿いを真っすぐに歩いていくと到着。

新北市立鶯歌陶磁博物館



- 🕒 月曜～金曜09:30-17:00、土曜～日曜 09:30-18:00（第一月曜日休館）
- 💰 NT\$80
- ☎ 02-8677-2727
- 📍 新北市鶯歌区文化路 200 号
- 🚉 台湾鉄道→台湾鉄道の区間車（各駅停車）に乗りして「鶯歌駅」にて下車。文化路の出口を出て徒歩10分。

新北市立十三行博物館



- 🕒 09:30-17:00（第一月曜日休館）
- 💰 NT\$80
- ☎ 02-2619-1313
- 📍 新北市八里区博物館路 200 号
- 🚉 MRT「関渡駅」→紅13番バス→「十三行博物館」バス停。または、MRT「淡水駅」→渡し船→紅 22 番バス、704 番バス→「八里行政中心（十三行博物館）」バス停。

新北市立黄金博物館



- 🕒 月曜～金曜 09:30-17:00、土曜～日曜 09:30-18:00（第一月曜日休館，祝日の場合は平常通り開館し、翌日が休館です）
- 💰 NT\$80 🎫 02-2496-2800
- 📍 新北市瑞芳区金光路8号
- 🚉 台北—金瓜石：MRT「忠孝復興駅」2番出口を出て、九份経由の1062番バスに乗り、「金瓜石（黄金博物館）」にて下車。

新北市立淡水古蹟博物館



- 🕒 月曜～金曜09:30-17:00、土曜～日曜 09:30-18:00（第一月曜日休館）
- 💰 NT\$80
- ☎ 02-2623-1001
- 📍 新北市淡水区中正路 28 巷 1 号
- 🚉 MRT「淡水駅（終着駅）」に到着したら紅26番、836番のバスに乗り換え、紅毛城まで。

📍 即日より  
淡水古蹟マイクロ博物館

新北市坪林茶業博物館



- 🕒 月曜～金曜09:00-17:00、土曜～日曜 09:00-17:30（第一月曜日休館）
- 💰 NT\$80
- ☎ 02-2665-6035
- 📍 新北市坪林区水德里水簕凌坑 19-1 号
- 🚉 MRT「新店駅」にて下車し、923番または緑12番（G12）の新店バスに乗り換え、「坪林国中」バス停にて下車、徒歩約5分で到着。

📍 即日より 11/11まで  
茶と王の特別展覧会

国定古跡林本源園邸



- 🕒 09:00-17:00（第一月曜日休館）
- 💰 NT\$80
- ☎ 02-2965-3061#23
- 📍 新北市板橋区西門街 9 号
- 🚉 MRT→板南線（ブルーライン）「府中駅」にて下車、1番出口から徒歩約8分。

府中 15



- 🕒 09:30-17:00（第一月曜日休館）
- 💰 Free
- ☎ 02-2968-3600#211
- 📍 新北市板橋区府中路 15 号
- 🚉 MRT→5番線（板南線）に乗りし、「府中駅」にて下車。2番出口を出て、徒歩約40mで到着。もしくは1番出口を右へ進み、横断歩道を渡って直進。約3分で到着。

板橋 435 芸文特区



- 🕒 月曜～金曜 09:00-17:00、土曜～日曜 09:00-18:00（第一月曜日休館）
- 💰 Free
- ☎ 02-2969-0366
- 📍 新北市板橋区中正路 435 号
- 🚉 MRT→板南線（ブルーライン）「板橋駅」にて下車。 310、307、810、857、786番バスに乗り換え、「板橋国中（435芸文特区）」にて下車。

新北市芸文センター



- 🕒 09:00-17:00（第一月曜日休館）
- 💰 Free
- ☎ 02-2253-4417
- 📍 新北市板橋区莊敬路 62 号
- 🚉 MRT→板南線（ブルーライン）「新埔駅」にて下車。4番出口を出て右折し、横断歩道を渡り、文化路二段182巷まで直進し、右折。再び直進し、約3分で到着。

新莊文化芸術センター



- 🕒 09:00-17:00（第一月曜日休館）
- 💰 Free
- ☎ 02-2276-0182#101
- 📍 新北市新莊区中平路 133 号
- 🚉 MRT→板南線に乗り、「新埔駅」にて下車。805番バスに乗り換え、「新泰游泳池」バス停にて下車。または5番出口を出て藍18番バスに乗り換え、「新莊高中」バス停にて下車。

新北市美麗永安芸文センター



- 🕒 09:00-17:00（毎月第一の月曜日休館）
- 💰 Free
- ☎ 02-2929-8830
- 📍 新北市中和区中和路390号2階
- 🚉 MRTオレンジラインに乗って、「永安市場駅」で降ります。

樹林芸文センター



- 🕒 演芸ホール開放時間：開演60分前よりチケット提示でロビーに入場可能。客席開場は開演30分前となります。
- ☎ 02-2682-0035
- 📍 新北市樹林区樹新路 40-8 号
- 🚉 鉄道「樹林駅」正面（鎮前街）出口より左に進み、徒歩約8分で到着（SHOWTIME シネマ横）

新北市眷村文化園區—空軍三重一村



- 🕒 10:00-22:00
- 💰 Free
- ☎ 02-2976-8725
- 📍 新北市三重区正義南路86 巷
- 🚉 MRT「中和新蘆線 - 迴龍線」に乗りし、「台北橋」で下車後、徒歩で文化南路→福德南路→正義南路86 巷を進みます。

📍 09/27-10/19  
2025新北市眷村（けんそん）文化祭

新板アートギャラリー



- 🕒 09:00-17:00
- 💰 Free
- ☎ 02-2950-6606
- 📍 新北市板橋区漢城東路166号3階
- 🚉 MRTバナム線「板橋駅」3A出口を出て、板橋駅1階東側から仙民街を直進し、漢城東路を右折して徒歩7分程度です。